

平成26年 5 月 7 日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 谷 直 樹
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役 常務執行役員 古田 晃浩
(TEL. 0569-84-0700)

**Virginia Commonwealth University, Parkinson's and Movement Disorders Centerとの
共同研究契約締結のお知らせ**

当社は、この度、米国Virginia Commonwealth University, Parkinson's and Movement Disorders Center（以下「VCU PMDC」）との間で、当社の所有するセロトニン5-HT₄受容体部分作動薬（化合物コード：「RQ-00000010」、以下「RQ-10」）について、パーキンソン病患者に併発する胃不全麻痺に対するRQ-10の有効性評価を目的とした、医師主導治験の実施に関する共同研究契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本契約に基づき、VCU PMDCは米国FDAにSponsor-Investigator INDを申請後、胃不全麻痺の病態を呈するパーキンソン病患者におけるRQ-10の治療効果を検討する医師主導治験を実施します。本試験において、既に健康成人における明確な胃排出促進効果と高い安全性が確認されているRQ-10が、初めて患者の治療に用いられることとなります。

本治験の責任医師であるレスリー・クラウド医師は、パーキンソン病における消化管機能障害に関する研究を専門としており、これまでに新規評価尺度を用いたこれらの患者における評価並びにその薬剤における改善効果に関して数多くの有用な知見を報告しております。

本提携の成果として、当社は、胃不全麻痺や便秘などの消化管運動不全を単独または併発する多くの機能的消化器疾患に対して、将来的な治療オプション提供の可能性につながることを期待しております。

なお、本契約締結により、当社が平成26年2月14日に公表した「平成25年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の業績予想に変更を要する影響はありません。

以 上

【RQ-00000010について】

RQ-10は当社が見いだした新規セロトニン5-HT₄受容体部分作動薬であり、同じメカニズムを持つ既存薬剤に比べて極めて高い活性と選択性を有しています。前臨床試験において、RQ-10は明確な消化管運動および胃排出の亢進作用を示す一方で、従来問題とされた心血管系副作用がないことが確認されています。また、英国において実施された第I相臨床試験において、健康成人におけるその胃排

出促進効果と高い安全性を確認できたことから、RQ-10が優れた安全域を有し治療効果の高い消化管運動機能改善薬として、将来有望な薬となり得る可能性があると考えております。

【VCU and the VCU Medical Centerについて】

VCUは、バージニア州リッチモンドに位置している総合州立大学であり、これまでに米国内外から多くの研究を受託しています。大学キャンパスには3万1千人以上の学生が学び、芸術、科学、人文科学において222の学位取得が可能です。66に及ぶ特有のカリキュラムは、その多くがVCUの13の学科とカレッジにまたがっています。附属のVCU Medical Centerは、米国における主要な大学医療センターの1つです。詳細はウェブサイトをご参照ください。www.vcu.edu。）

【VCU PMDCについて】

VCU PMDCは、運動障害性の疾患治療に特化した医療センターです。総合的な臨床的治療、基礎から応用までの臨床研究、並びに教育及び社会貢献すべてにおいて最高水準のものを目指し、患者の家族や地域社会に対して貢献しています。詳細はウェブサイトをご参照ください。

www.parkinson.vcu.edu。）